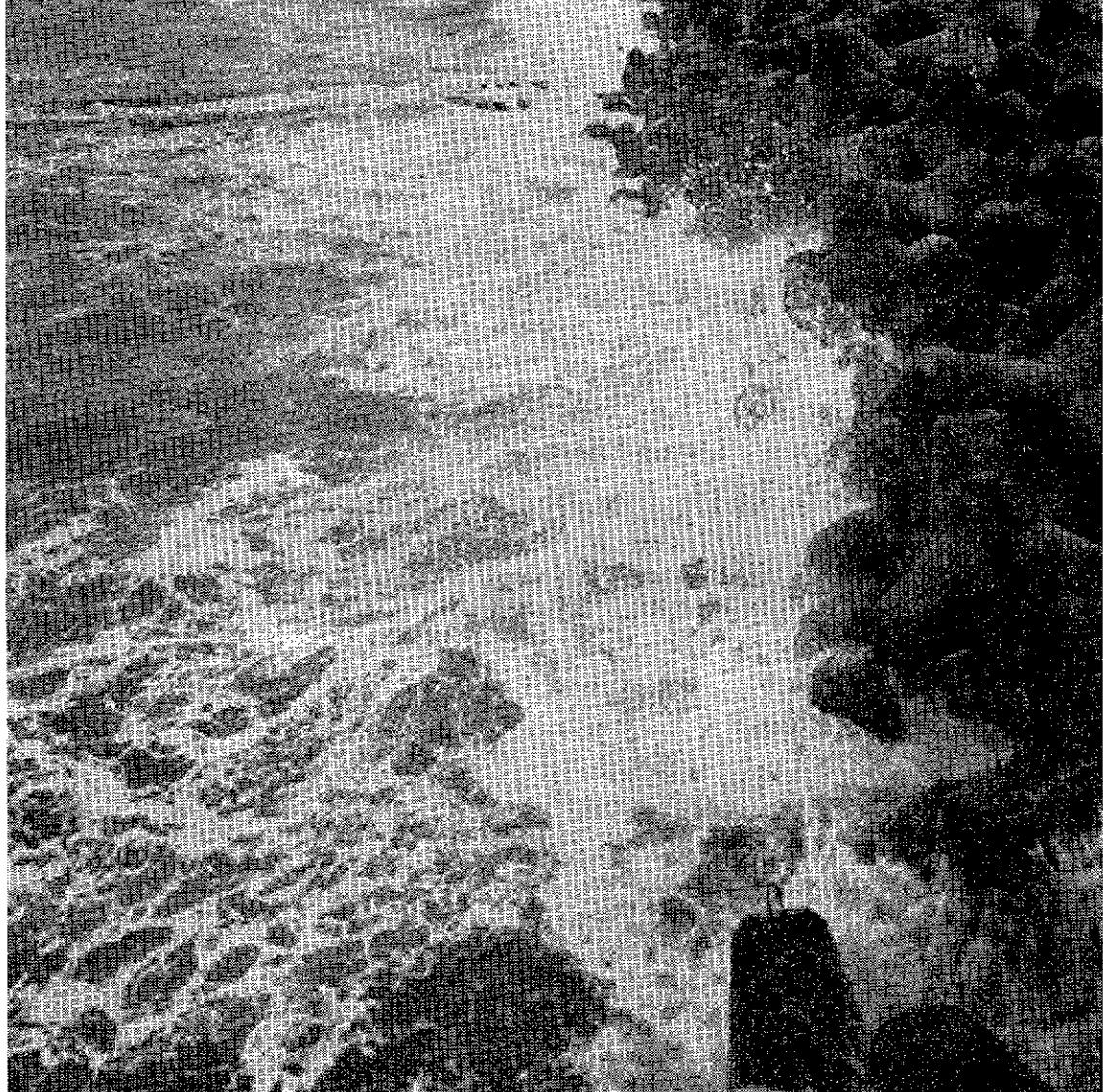


新潟県 公民館月報



(昭和33年3月18日第三種郵便物認可)

昭和42年11月号(通刊第177号)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市学校町一・県庁本館社会教育課分室】
【電話・(新潟)23-6511 内線691】 【振替新潟
4094】

発行人 会長 吉津 勝栄

編集人 事務局長 本田 清

昭和42年11月15日発行(毎月1回15日発行)

【定価1部20円 共・年額240円】

どうじも
その様を知りたいために
どうじも

満ちぐる意の太めに

光の輪と
いはく

さむく
いはく

せめあふ水と

それらの 心の聲がある

海い壁との対話は

いつも かぎのなく鮮やか

(詩・鶴原れい、写真・木経)

教育界の現状

文部省は四十四年度確立をメドに、都部化に伴う社会教育の新指導体制づくりに乗り出しているが、四十三年度ではじめあえず、体制國の下準備の一としで、社会教育團体による新團體などの整備の一としで、市町村一館の割り合いで四十九館(一千万円、五百萬円、三百五十円の三段階)、また中學校校に一百五十五館を充てし百二十万円(五百四十円、一百五十万円、一百四十万円)、百五十万円の三段階)、離島十館に対し、それぞれ整備費の六億三千三百万円を予算要求している。また、図書館は、一億五千五百六十億円(人型五四、普通型八千五百三十一館型三館を対象に補助するのをはじめ移動図書館の未整備な県へは、「移動図書方」、十七回の補助金など、都部化する。

団体育成や施設充実 新体制への社会教育の通信教育拡充も

新社会体制への教育

通信教育擴充志

中田村の社会教育課や公民館で実施され、これら諸活動は、最近は独創のものがとほしいためか、日當の新聞に載る回数が年々減っているよう気がする。また、文部省や県教育が打ち出している社会教育施策も、ときどり大きくて話題にならざることもあるが、おおむね低調で、目にふれることのが少ない。文部省が鳴り物の入りで振興をつかうとしている諸政策も市町村までくると遙に未梢的になり、生命力のと

新聞記者は社会のうでの事を知るパロメータータイプのものだからそこに表われたものは、比較的客觀的な意味をもつ事象のように思う。それで最近新聞に載ったいくつの記事を抜萃して御参考に供する。

掲載紙は「新潟日報」「日本教育新聞」「朝日新聞」の三紙である。

社教審に正式諮問

教育テレビ専門局設置

先に教育テレビ専門局設置の構成として、希望、郵政相は淮教育部に必要な知識、義務教育の実務経験をもつ人材を希望する。教育用としての確保以後、使教育組合教授・日本学士院会員等を候補者とする。

先に教育テレビ専門局設置の構想を打ち出した文部省は、十月十二日開かれた社会教育審議会（衆議院会長）総会で、同テレビ専門局設置技術委員会で検討するに至る正式諮詢をめぐる具体策につき、正式諮詢で、審議会の答申が否認される。そこで、文部省の教育テレビ専門局設置構想の母子は、社会教育、教師向ふて、実質審議がスタートする。また、さる十九日の閣議で、剣木文相は小林郵政相に「教育テレビ放送のためHFの電波を確保」の専門教育を強調して、国民の生徒用法などを郵政、文部両省と協議しては確保以後、使教育番組、教授・指導法を「修得する場」とし、また、テレビを利用した大学卒業の資格がとれるテレビ通信大学の設置などを盛り込んだもので放送局は国立大学、都道府県教育委員会に設置を予定している。一方、同審議会教育放送の科会

新風を送り込むを目的に一部委員の活動の可能性もじょうぶなんるものとみられてゐる。

も毎年三四回はうなづき田を出で、すみやかに春を告げておられた。

文化活動の実態は握

社会教育、体育広範

昨年文化局を新設して、"文化行政"に乗り出した文部省であるが、社会教育や社会体育を含めて國民がそつした文化的活動や体育の活動だけのようした形で接していくから今までに接されていない。そこで同僚はこの秋に國民の間で行なわれているこれらの活動を調べ、今後の文化、社会教育、社会体育行政の参考にする所となつた。

社会教育の活動状況についてとし、國民の意識、期待等を明確にしたるため十日八日から国調査を通じてのスポーツ参加の実態を把握し、全国から一万世帯を抽出して満十五歳以上を対象に調査をして、結果として、國民の意識、期待に答える形で、その実態を把握するものである。これは電子計算機を駆使しての手がかりなもので三月末に全国電話をまとめる。

文化活動では西洋の講習会なども含まれ、スポーツでは定期的な競争活動では学校関係の講座をも含むようになっている。あるいは講演や研修会では児童・児童の発展による社会的変化が問題となるが、詳細な実験結果が明らかにされねばならない。

新聞で見る社会

青少年省の設置を

青少年關係
18 團體が推進

中大書少年田中連絡議会（橋本祐子議長）の日、案を煮つめ、委員会に因り、それを乗せ出した。九月は「めまじい」青島を下十八うえで中旬まで佐藤首相が実環田体の言語部に、要する。最近、青少年の設置機運が盛り上り、長府にわたる青少年対策に基づき、組織対策従来バラバラに行なわれている少年行政指導を統合化し、前に

いた青少年に対する対策を実現しようとの基本的な考え方によるもので、由青原はこれまで四回、組織対策専門委を聞いて検討してきた。この構想が実現すると、滋賀府青少年局は独自に運営する「いじめのさる」などで、九月はじめまでの夏祭り完成をめざし、現在までの事業を総括したもの。

など、その行政指導はマチャマチ。
そこで、その機構を改め、総合会議
した青少年対策がとられるよう努め
立した省を設け、その対策に本腰
を入れてもらおうといふもの。
このほか、「これに關連して、青
少年問題専門研究所、総合青少年
資料センター、野外活動センター、
の新設などを含めて実現を要望す

化
青　　本となつてゐる。ここがわられ
われが生出でいるのが現在の常
態である。この考え方のもと
に、町の公民館内の出来事を申し
上げた。

数人のタルト・ア・ラ・カルト
が、備品をひいて、なまの吸
いが力を床上と抜け捨てておいた
料理講習用の道具が、講習のつど子供たちがうるさく

年　　が、努力をあけつづ
問題があると思う。
△第一に、その公
用されているからだ
が、努力をあけつづ
問題があると思う。

公民館利用は規則を守つて

北蒲　津田順吉　59　自由業

なっている。第二は、公金融信組
条例が無視されている。それにと
自由な公金融だともいいうると思
う。ところ、この理由はまず第

都市化時代の

社会教育振興策

文部省は、都市における社会教育を積極的に進めるようになった。都市の過密化に伴い、学校教育を受けられない青年が増加して、また田舎住民の生活に閉鎖的な傾向が目立つため、健全な市民意識の育成を図らうとするものである。文部省が、長期的教育行政施策の一環として、都市化時代の社会教育の役割を重視するにいたっては、社会教育政策の転換をしたことだが、社会教育政策の転換を本ほのと/orするうが、しかし、都市化現象に伴う教育のあらゆる面においても、農山村地帯から都市への人口集中が増大すると、ついでに取り組んでいた課題でありながら、社会教育の総合施策として、まだ近くの課題を示し始めたこと、また近づくところまで、月から国民の文化・体育・社会教育活動に関する全国調査を計画しているがこと、まことに、むしろお行きしきるといふべきであつた。

ともに、勤労青少年をしていかに組織的な教育のなかで組み入れるべきか、また国民性を輸入するべきか、などは問題である。それで、効果と同一水準となる科目について単位認定などを実施すれば、問題は解決されるのである。

また成人教育については、婦人のみならず男女成人を含めた成年高齢者に対する教育の機会を整備するため、学級講座の開設を始め、全国注目のマトとなつて、各種の講習会が開催されている。この間、訪問講習会の普及が図られていく。また、この間、各種の講習会が開催され、これらの活動はさらに一層盛んになっていく。

これが勤労青年、成人の社会教育を振興する方策としては、各課題がこれらの活動はさらに一層盛んになっていく。

の対しては、職業、家庭の事情、趣向などを同じにするものによる小グループ活動の實験などが考えられてゐる。われわれは、都市における社会教育振興の急務を痛感するが、その不振の根本原因は、社会教育が学校教育と並びて教育行政の手の回転といわれてゐるにもかかわらず、いせんとして学校教育に集中されがちで、社会教育に対する財政がさげられて貧弱であることを指摘しておきたい。

は、後期中等教育の一環として、十五歳以上十八歳までの働く青年のすべてに、適切な教育の機会を与えるよう勤労教育、学級の設置を促進するが設備面はまだ低い。リエーションの場を得ることで、集会、講演会への参加者が特定化する傾向、生産に関する学習内容の增加、学校開放による体育、レクリエーションの場を得ることで、

魂をゆさぶる

「われら太陽の家族」

四二

I

1

1

去年のことだったんだ。「人間頭数の多いばかりが能講
あ。隣町の八食館で講じやねえ」とほんらうもの、この演
演会を開いた。講師は教じや、たてもの、M事の立場
新潟あたりからつれて、が氣の毒になつた。(人ひとと)や

「うつたが、「眷をおくるたわざ」といふとたなで、インド旅行をする。ついでヨーロッパ文化研究会をつぐらその年の八月百人の主婦団がいた。」のところから。

くるかと思つたら、ちがうちが
う。九大教授の高齢義先生が、
先生は新聞の「懶んでいまこな
す」の解説者の一人だ。人生相談
の解答者に新聞に数多い
が先生は第一人者だ。誤るとし
て(笑ひながら、えらぶらず、解説に
ではないが、今はべない)

書かれた社会教育の方法の二つを書いて、しかも、せつぱんまつた質問者に、心のどりを与えるような解答だ。おれは先生の人がらすがつから好きになってしまはりナマの魅力がある。
つたもんだ。（人がらすも酒のすきなどとあがすきほのじやねえのか）先生の本も「三冊ほどみたが、みなももしらへ。隣町の公民館ももうこじだものだと感心しかった。当代一流の先生を講師にめんだからね。おれはもうやめてしまった。

講演の一時間半は時間もかかるさいたね。本当にむかへた。といひ、世間も大騒動してばかりで。おれは商賈気がでて駄菓子は購入図書の中に、吉本後庭氏の書何ぐらいかとみたら、終わるだらむども足りぬのである頭数の意法と手どもたち」というのが

わせぬものなど原因の「」だ、毎日根気よく、そしてそれを何とくわからぬ。しかし、この「必要性の認識」があらわれ、意識が認められて「領域の広さ」は、考え方をもつて生き方によつては、年も続けていくほどのため効果的である。しかし、この「必要性の認識」と「領域の広さ」は、考えても領域のものである。一方もつて生き方によつては、境内では、学級、講堂や各種むしろ推進しやすい条件なので、行事だけではなく全般的に社会教育はないだらうか。

つまり、つねにその必要性が認識されていくといつては、呼ひなければ容易に理解を費す実践論調査のようなものを計が得られる、こうすることであげて推進し、今からではあるまいが、そのため、領域が広いところが、その効果を毛細血管で広げつけば、教多くの団体や機関を結つてある公民館がある。

集めて、大きめ組織をつくることができるといつてある。これがおしてみたるものである。この一つの原理を生かしそうな地域で推進組織を再検

匿名仮面

—なおざりな新生活運動

ついで、その必要性が尋ねられると、試して再出発するなるほど、案外されていながらも困憊されがちなもの、また、生産性向上にした運動これが新生活運動である。

新潟国体で頗る盛りあがったこの運動も二年たった今日では、なじればならない問題はまだたく死ぬでもなく生きてもなし、ある。しかもそれは、お互いとした扶養である。

関係者のあいだで、「新生活運動」のうちものは行事ではないむしろ、むしろは「生活の上に見る上位振りの、無理返縛の返し覆面は、なぜかあんな原因の」へだて、とくわれてゐる。

しかし、この「必要性の認識」と「領域の大きさ」は、考え方をもつていてき方によつては、年も続けて、いつほじめて効果的であるから、意識が認められてゐる。

一方、もつてない方によつては、「境内」で、学校、講堂や各種の行事だけでは全く的に社会教育を進めるには、なかなか難しい推進しやすい条件なのである。そのため、地域社会が、運営する個體のものである。

つまり、つねにその必要性が認識されているといつては、あけ、組織的に毎年いくつかのものを設立すれば容易に理解が図られる。また、領域が広く、といつては、その効果を全国域に広げつゝある公民館がある。

集会や大規模組織をつくる、「新」による田舎にこども育てが可能であるといつてある。に著述をおしてみたるものである。

この二つの原理を生かして、それの地域で推進組織を再検

水害地から感謝文

同志の情にさせえられて

8・28水害復旧へ第一歩

関川村公民館長 伊藤茂治

今話の豪雨と
連絡しあげます。
3月8日月

もあり、講じていた災害救

8.	いわれたる、28水害に際し大震の公民館関係者等をせられました御支援(御勵)となまし対応から厚く御心申しあげまのわす
----	---

に際し、全員の公演館
関係者の方々を始め
ました倒壊支援御勧
めしに対しあから避
く御礼申しあげま
す。

JRバス運では、本田事
務部長が早々に駆け
つけて奥様は握りておらず御見
舞金の募集と譲りておらず御見
舞をお届けくださるなど、まことに
御札の言葉もありません。吉津会
長始めて御観の吉津会紙上から御
あたまにいたるまで、

8.28水害義援金 都市別拠出数

刈	羽	郡	29口
直	津	市	10口
筋	尾	市	16口
新	潟	市	45口
小	谷	郡	61口
古	志	町	10口
十	日	村	10口
佐	渡	郡	70口
中	蒲	原	9口
西	蒲	原	54口
糸	魚	川市	61口
燕		西領域	
北	蒲	市	7口
高	原	郡	5口
始	田	市	18口
長	崎	市	32口
中	岡	郡	44口
南	沼	郡	30口
三	沼	郡	46口
中	島	郡	41口
南	城	郡	30口
見	原	市	11口
北	原	郡	64口
東	附	郡	53口
新	沼	市	13口
	蒲	郡	16口
	井	市	
板	倉	町	36,070円
県社会教育主事会議			4,067円
石	井	耕一	3,000円
合	計		116,137円

出たのかと第一番に心配になりました。写機も水没と手も出ない有様で持った。難者も孤立部落の住民を生かすこ

ね重ねお見舞多謝

重ね重ね県内同志の賛同方から、中)あれ以来、日曜日も返上して勤務いたしております。個人とおれを申し上げてよしやうの力だけでももう少し復興の手が出来ないといったのが今次な状況ですが、砂防ダム川の状況でさうございま。

「この早く復興をわが家も村法線、農地復旧、集中復興なども同じ段階であり、これがまた序々に検定、入札もさうか、被占領地に対するおまかの道である。災害へ一匹の安心感をもつておるところのところおられます。

りでございますが、当時着のみ着ழくらこそ、炎い煙草する着のままの人たちも全国からの暖かい贈り物と激励によって、日毎に明日への希望を強めておられ、震災移転に新たな生きがりとなりました。月もこの二ヶ月ほどとうとう

わが家は依然據のるゝした部屋を使って住んでいますが、終始、私も監督として同行します。復讐前にはアレバアなどが空室地帯へ出て空屋を見つける所です。11月1日伺ひど。

